ハザードマップを正しくチェック！するための3STEP

① 自宅周辺の危険なエリアをチェックしよう

色がついている場合は **凡例** で中身を確認しよう！

がけ崩れ
斜面が急に崩れ落ちる現象

土石流
山や谷の土砂が水と混じり一気に流れ出す現象

地すべり
緩い斜面が広い範囲でゆっくりすべり落ちる現象

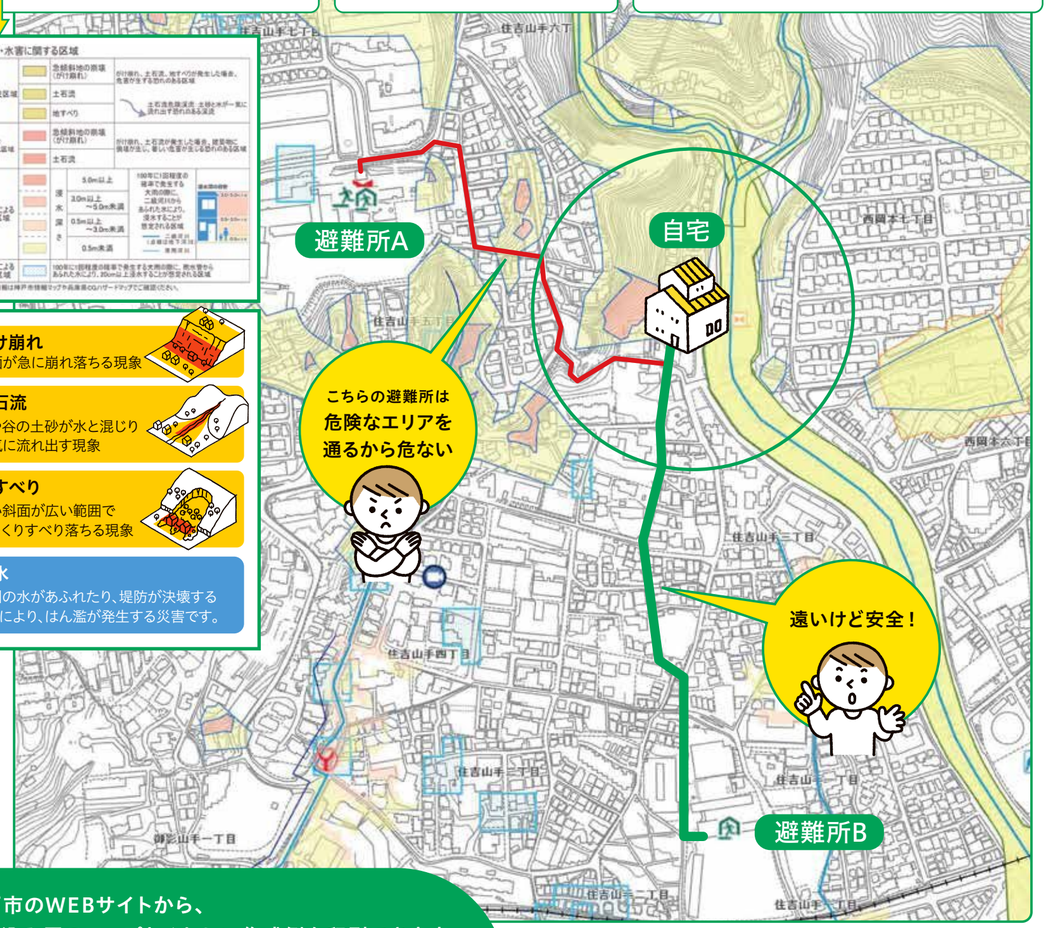
洪水
河川の水があふれたり、堤防が決壊することにより、はん濫が発生する災害です。

② 避難所を探そう

・さまざまな災害を想定し、複数の緊急避難場所を確認しよう！
・安全なルートを確認しよう！

③ 実際に避難所まで歩いてみよう

避難ルートの近くに川、水路、がけ地などがないか、確認しよう！

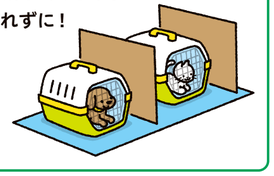


神戸市のWEBサイトから、
書き込み用のマップとくわしい作成例を印刷できます。
家族や身近な人と話し合いながら
マップを作ってみよう！

わが家の避難マップ　検索

ペットも一緒に避難！

神戸市内にはペットのための避難スペースを準備している避難所があります。
ペット用の備蓄も忘れずに！



問い合わせ先
0570-083-330 または 078-333-3330
FAX 078-333-3314
神戸市お問い合わせセンター（年中無休8:00～21:00）
※災害テレホンセンター 0570-078-500は、0570-083-330に統合しました

メールフォームはこちら

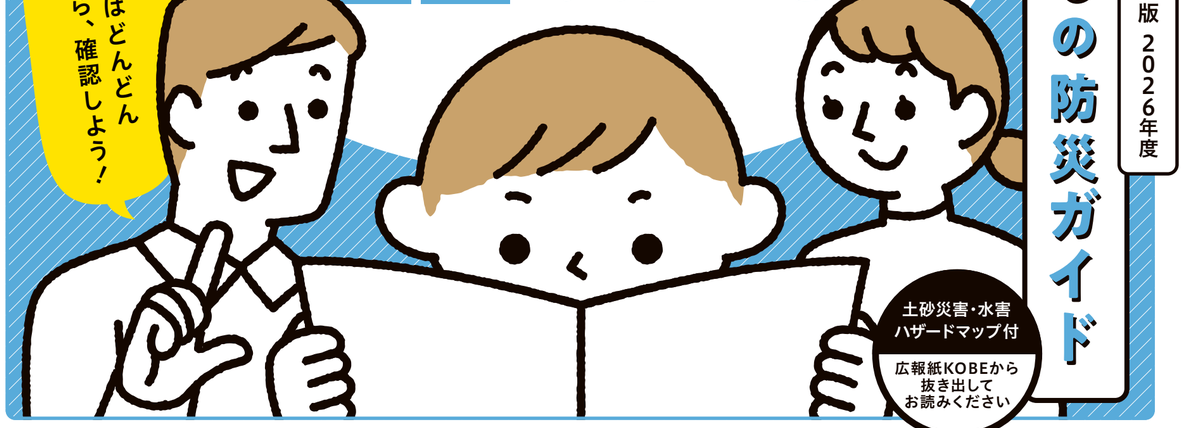
よくある質問はこちら

KOBE

危険を知ることが防災の第一歩

くらしの防災ガイド

須磨区
保存版 2026年度



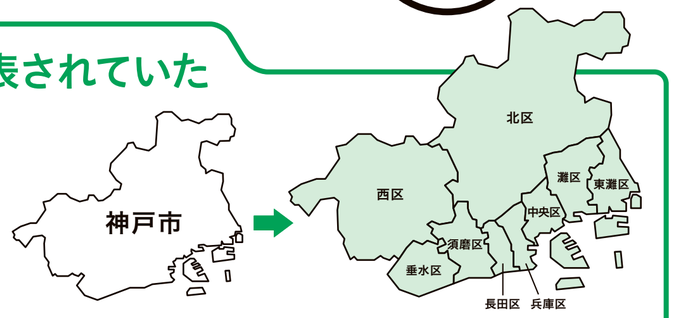
土砂災害・水害ハザードマップ付

広報紙KOBEから抜き出してお読みください

これまで神戸市全域に発表されていた気象警報等が区ごとに！

より身近になった情報を活用して災害に備えよう

おすまいの区に注意報・警報が発表されたら、ハザードマップや神戸市リアルタイム防災情報などをチェック！



対象となる気象警報等 ※2026年5月下旬の新しい防災気象情報の開始により気象警報等の情報名称が一部変更予定

2026年3月17日開始

特別警報	大雨（土砂災害・浸水害）、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
警報	大雨（土砂災害・浸水害）、洪水、暴風、暴風雪、大雪、波浪、高潮
注意報	大雨、洪水、強風、風雪、大雪、波浪、高潮、雷、融雪、濃霧、乾燥、なだれ、低温、霜、着氷、着雪
その他	土砂災害警戒情報

発表例　神戸市西区 洪水警報

日頃の備え

わが家の避難ルール（マイ・タイムライン）

災害時には、自らの判断で行動することが重要です。いざという時の避難ルールを決めて、日頃から備えておきましょう。

あらかじめ家族と連絡を取る方法を決める
□災害用伝言版（web171）
□災害用伝言ダイヤル（171）
□SNSなど

災害の種類	自宅の危険性	避難ルール		
		どこへ（安全な場所）	いつ（避難行動開始）	避難にかかる時間
土砂災害				分
河川の洪水				分
地震（津波）				分

一時避難の持ち出し品

避難する時の最小限の必需品をまとめておきましょう。男性15kg、女性10kgを目安とし、実際に持って行動できるか試しておくことも大切です。飲料水、乾電池など期限があるものは定期的に交換しましょう。

一時避難の持ちだし品リスト（一例）

□ヘッドライト　□食料・水　□軍手
□電池・充電器　□衣類・防寒具・雨具　□トイレットペーパー
□常備薬・救急薬品　□マスク・消毒液　□タオル
□ビニール袋　□ティッシュ　□ラジオ
□歯ブラシ　□生理用品　□その他必要なもの